

# 椿姫

第68回 桜垣バレエ団公演

《ストーリー》 その花を愛するゆえ、「椿姫」と呼ばれる娼婦、マルグリットは、パリ社交界で奔放な日々を送っていた。純真な青年アルマンの真実の愛に目覚め、ひたむきな恋を知るが、真に彼を愛する道は別れることだと悟り、元に戻る。やがて、病に倒れ床につくも、最後までアルマンを待ち続ける。舞台は、マルグリットの死をみとることができなかったアルマンが、オークションの終わったマルグリットの部屋で、残された日記帳を開くところから始まる。

## プロローグ

- 第1幕 1場 マルグリットの客間  
2場 マルグリットの部屋  
3場 プロヴァンスでの避暑  
4場 プロヴァンスの家  
5場 パリ、男爵の客間

- 第2幕 1場 パリの街角  
2場 マルグリットの寝室  
3場 マルグリットの夢の中

## エピローグ



Photo: by A.Grandori



演出・振付・主演(マルグリット)  
小西 裕紀子

京都市に生まれ、6歳でバレエを始める。同志社大学文学部国文科卒業。20歳でのパリ留学、ベルリン・コミッシュェ・オーバでのスペシャルゲスト経験などを活かし、桜垣バレエ団の主演、振付師として国内、海外公演を積極的に展開。特に、日本文化を基にしたオリジナル作品の創造に取り組み、その企画、公演は海外でも高い評価を得ている。クーデンホーフ・みつこを描いた「みつこ-MITSUKO-黒髪の伯爵夫人」(文化庁芸術祭大賞)はその代表作で、みつこ生誕140年の2014年、ウィーンで上演、大きな感動と反響を呼んだ。2015年、10度目の海外公演となるフィレンツェ公演では「椿姫」のマルグリット役を主演し、京都市フィレンツェ市姉妹都市提携50周年記念事業に花を添える。2008年、京都新聞「ソフィアがやってきた!」の公開授業、2011年京都市交響楽団のオーケストラ・ディスカバリー2011出演、2013年からは、清水寺の経堂で「瀕死の白鳥」を踊るなど、バレエファンの拡大にも努めている。1980年、日本バレエ協会新人賞、1991年京都市芸術新人賞、2011年平成22年度財団法人松山バレエ団芸術奨励賞受賞。

アルマン  
佐々木 大



6才よりバレエを始める。1991年、V. ゴルデーエフ率いる国立ロシアバレエ団にプリンシパルとして入団。帰国後は、「FLE GALA DES ETOILES」、日本バレエ協会公演、新国立劇場等の舞台に立つ。2000年には大澄賢也とともに「Loverdance」を成功させ、新境地を開拓。2003年より篠原聖一バレエリサイタル[Dance for Life]に出演する。桜垣バレエ団には2013年の「椿姫」にアルマン役で登場、2014年ウィーン公演、2015年フィレンツェ公演にも出演、その並はずれたテクニックで、現地観客を魅了した。

- 1994年 第5回ジャクソン国際バレエコンクール 第1位金賞  
第16回ヴァルナ国際バレエコンクール 第2位銀賞  
2000年 財団法人松山バレエ団芸術奨励賞  
2001年 第51回芸術選奨文部科学大臣新人賞 中川鋭之助賞  
2004年 第20回服部智恵子賞  
2012年 第37回橋杵子賞優秀賞

デュバル  
セルゲイ・サボチェンコ



モスクワ・ポリショイ・バレエ・アカデミー(ポリショイバレエ学校)卒業後、ドイツ・ハノーバー州立劇場をはじめ、ヨーロッパ各地でプリンシパルとして活躍後、NBAバレエ団でプリンシパルを務める。退団後、NPO法人セルゲイ・サボチェンコバレエアートグループを設立。桜垣バレエ団「椿姫」には2007年の初演時から、デュバル役を、2010年のクラコウ公演、2015年のフィレンツェ公演にも出演、圧倒的な存在感で観客を魅了した。

男爵  
田中 英幸



1989年ロシアに短期留学。1994年から2002年の8年間、ベルリン・ドイツ・オペラバレエ団でソリストとして活躍、ジョージ・バランシン、モーリス・ベジャール、イリ・キリアン、ナチョ・デュアト、ジョン・ノイマイヤー等の作品の主要なパートを踊る。2002年帰国後フリー、2004年よりバレエ団に客演、国内公演だけでなく、2006年、2009年のドイツ公演、2010年ポーランド公演、2011年、2013年のドイツ公演にも出演、作品を支えた。



末原 雅広



山本 庸督



梶田 真嗣



中井 高人



宮原 由紀夫



榎本 心



西島 明宏



和田 健太郎



前田 翼



西口 瑠美



松井 啓子



箱崎 絢子



宮本 夏帆



藤原 もえ



岡本 結衣



林 杏香



楓井 麻友



宮本 保子



鈴木 沙梨



名越 久芽



中谷 美咲



中西 久美



福原 瑛恵



八木 由乃

河波 佐結里 蘆原 絵莉子 林 明寿香 松田 桃花 堀内 はな 久保 真里奈 杉嶋 花

## 一般社団法人桜垣バレエ団 プロフィール

## HIGAKI BALLET COMPANY

古典バレエを上演する一方、日本独自の作品創造に意欲的に取り組む。

地元京都では、「京都国際音楽祭バレエの夕べ」(1988、93年)、京都市交響楽団の「京響親子コンサート」、「京都21カウントダウンコンサート」、「オーケストラディスカバリー2011」に出演し、地元の芸術振興に関わる。

2013年からは、京都の玄関口JR京都駅にある「京都劇場」での公演を実施、全国からの幅広い観客動員にも成果を上げている。

地元京都に深く根ざすと同時に、活発な国際交流も桜垣バレエの特徴。パリ・オペラ座、オーストラリアバレエ団、ベルリン・コミッシュェ・オーバ、ウィーン国立歌劇場バレエ団よりダンサーを招聘する一方、海外公演も積極的に展開。1994年のニュージーランドに始まり、2005年、ドイツ・ベルリンでオリジナル作品「清姫」を公演し、初めてヨーロッパに進出。以後、2006年にはワルシャワ国立劇場をはじめとするヨーロッパ公演、2009年にドイツ公演、2010年1月、ポーランド、クラコウ・オペラ劇場では、ベートーヴェン・アカデミー・オーケストラの演奏で「椿姫」を上演。また、クーデンホーフ・みつこ生誕140年に当たる2014年6月に、オリジナル作品「みつこ-MITSUKO-黒髪の伯爵夫人」をゆかりの地ウィーンで上演。2015年5月には、京都市フィレンツェ市姉妹都市提携50周年記念事業として10度目の海外公演となる「椿姫」をフィレンツェ・ヴェルディ劇場で上演するなど、欧州各地で日本のバレエを精力的に紹介し、現地の観客を魅了し、高い評価を得ている。「みつこ-MITSUKO-黒髪の伯爵夫人」は、平成16年度文化庁芸術祭大賞を受賞した。

## 会場へのアクセス



◆ロームシアター京都  
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13

### 【電車でお越しの方】

- ・京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車1番出口より徒歩約10分
- ・京阪電鉄「神宮丸太町」駅下車2番出口より徒歩約13分

### 【バスでお越しの方】

- ・市バス32系統、46系統、京都岡崎ループ「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
- ・市バス5系統、100系統、急行110系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分

## 京都市交響楽団 — Kyoto Symphony Orchestra —



日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。楽器講習会や音楽鑑賞教室、福祉施設への訪問演奏等にも積極的に取り組み、08年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。14年4月からは常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。15年6月ヨーロッパ公演で成功を収め、「世界に誇れるオーケストラ」を目指して更なる前進を図っている。